

12月のレムナントデイの序論で、「レムナントと集中」について語られました。
いま、もう一度、「レムナント」「集中」について、簡単に黙想しましょう。

レムナントと集中

I ペテロ 2:9

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。



1. レムナント (REMNANT)

まず、レムナント (REMNANT) について見てみましょう。

英語の聖書 (KJV) で調べたところ、聖書全体で remnant という単語が 92 か所、出て来ます。旧約聖書で 86回、新約聖書で 6回です。

そのことばが言われている内容は、次のとおりです。

* 「神様に選ばれた民」を示すとき

ヤコブの残りの者、イスラエルの残りの者、ユダの残りの者、わたしの民の残りの者…

* 「異邦の国の中に捨てられた民」を示すとき

その民の残りの者、バアルの残りの者…

神様に選ばれた民は、たとえ奴隷、捕虜、属国状態にあったとしても、滅亡、破壊の中、散らされたとしても、神様の恵みゆえに最後まで残されます。

しかし、神様の恵みの外にある者は、最後まで残ったとしても、結局、滅びます。

この内容が記されています。



先月の学院福音化のみことばを通して、「選択と遺棄」という神様の定めについて見ました。

イエス様が再臨の主として来られるとき、さばきの座に着かれ、すべての民をその前にひざまずかせ、羊と山羊を分けられるように、人々を右側と左側に分けられます。右側にいる者は幸いな者で、神の国に入ることができます。左側にいる者は、のろわれた者として、永遠の炎に入れられます。そのことは、すでに創造の前から定められていることが、マタイ 25章に記されています。

すべての人は罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません。その罪の結果として死、つまり、死んだ者となります。それをエペソ 2章では「自分の罪過と罪との中に死んでいた者であつて」と言われています。しかし、神様がその中でも幾人かを創造の前から選んでくださっていました。

エペソ 1:4

すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとなされました。

そして、キリストの死と復活とともに生かしてくださったのです。

エペソ 2: 5

罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、——あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです——

私たちは、聖霊によってイエスをキリストと告白しました。神の子どもであることを聖霊が確定してくださり、この時代の残りの者、残れる者、残す者、すなわち、レムナント (REMNANT) として召してくださいました。神様の恵みによってなされたことです。

レムナントのみなさんは、単純に「レムナント」という単語だけを握るのではなく、みなさんは滅ぼされる残った者ではなく、救われたレムナントとして召されたことに対して、神様の恵みであることを忘れないようにしましょう。



いくつか聖書箇所を確認しましょう。

ローマ 9:25-29

25 それは、ホセアの書でも言っておられるとおりです。「わたしは、わが民でない者をわが民と呼び、愛さなかった者を愛する者と呼ぶ。

26 『あなたがたは、わたしの民ではない』と、わたしが言ったその場所で、彼らは、生ける神の子どもと呼ばれる。」

27 また、イスラエルについては、イザヤがこう叫んでいます。「たといイスラエルの子どもたちの数は、海べの砂のようであっても、救われるのは、残された者である。

28 主は、みことばを完全に、しかも敏速に、地上に成し遂げられる。」

29 また、イザヤがこう預言したとおりです。「もし万軍の主が、私たちに子孫を残されなかったら、私たちはソドムのようになり、ゴモラと同じものとされたであろう。」

神様の恵みによって、私たちは救われた残りの者になりました。

ローマ 11:2-6

2 神は、あらかじめ知っておられたご自分の民を退けてしまわれたのではありません。それともあなたがたは、聖書がエリヤに関する個所で言っていることを、知らないのですか。彼はイスラエルを神に訴えてこう言いました。

3 「主よ。彼らはあなたの預言者たちを殺し、あなたの祭壇をこわし、私だけが残されました。彼らはいま私のいのちを取ろうとしています。」

4 ところが彼に対して何とお答えになりましたか。「バアルにひざをかがめていない男子七千人が、

わたしのために残してある。」

5 それと同じように、今も、恵みの選びによって残された者がいます。

6 もし恵みによるのであれば、もはや行ないによるものではありません。もしそうでなかったら、恵みが恵みでなくなります。

神様の民ではなかった者を神様の民とされ、愛されない者が愛される者となって、すべてが滅ぼされる状況で7000人を残されたように、私たちを残してくださったのです。

2. 集中

次に集中についてです。

集中は神様に対する私たちの集中よりも、私に対する神様の集中を知ってください。私に対する神様の集中も、「恵み」です。

私たちはなにかに集中し続けられる者ではありません。特に、自分が願い求めていず、慕っていないことには、集中できません。たとえ、私たちが好きで関心があるとしても、私たちの集中には限界があります。ですから、福音のみことばと契約に集中することは、神様から与えられる恵みの範囲の中でだけ可能です。

レムナントデイでは、3つの集中を語られました。



1) 制限された集中 (使徒1:1)

(制限的集中)

ただ、唯一の道、方法=イエス・キリスト

制限された集中というのは、神様が約束された唯一の救いの方法であるキリストのことです。

使徒1:1のキリストの契約

神様に会う唯一の道、神様とともにいることができる唯一の方法は、ただイエス・キリストだけです。神様のみことばの聖書は、いろいろなことを記していますが、そのことは、ただ一つ「イエスがキリストだ」という結論を出しています。

それが、制限的集中です。

そして、神様が選ばれた民が、人生と歴史を通して、ただイエスがキリストだとだけ告白できるように編集されました。

神様が制限的集中で、私たちにイエス・キリストを与えてくださり、私たちの人生のすべてのことで、ただイエス・キリストだけを告白できるように編集されたということです。

2) 選択された集中 (使徒1:3)

(選択的集中)

神の国、聖なる国民

選択的集中というのは、使徒1:3の神の国を言います。創造の前に神の国の民として選んでくださった私たちを、まことの神殿として、教会として完ぺきに設計されて、神の国を相続できるように約束されました。



エペソ 1:11

この方において私たちは御国を受け継ぐ者ともなりました。みこころによりご計画のままをみな行なう方の目的に従って、私たちはあらかじめこのように定められていたのです。

神様の選択的集中によって、私たちは神様の聖なる国民となりました。

1 ペテロ 2:9

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみのなかから、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

マタイ 25:34

そうして、王は、その右にいる者たちに言います。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。』

3) ワンネス集中 (使徒1:8)

聖霊の満たし

聖霊 = 聖徒 = 私



ワンネス集中は、使徒1:8の聖霊の満たしです。

使徒1:4-5に約束された聖霊を待つ、その約束のみことばを信じて、信徒たちが心を合わせて祈りました。そのように心を合わせて祈れるように、ワンネス集中の答えをくださったのです。そして、五旬節の日に、マルコの屋上の間に聖霊が臨まれました。そこに集まった一人ひとりに聖霊が臨み、聖霊がワンネスになる答えを与えてくださったのです。

キリストを頭にするひとつのからだの共同体として、エルサレム、ユダヤ、サマリヤ、地の果てまで、証人の人生を生きることができるよう、ワンネス集中の祝福をデザインしていただきました。

制限的集中、選択的集中、ワンネス集中は、使徒1:1, 3, 8であり、私たちに對する神様の集中です。私たちに對する神様の編集、設計、デザインです。

このように神様の制限的集中、選択的集中、ワンネス集中の恵みによって、いま、私たちが、私たちが属している教会、そして、ただイエス・キリストの契約の中で世界福音化に用いられる団体があります。ですから、私たちがすべき集中は、イエスがキリストであり、私の人生の主人であり、人生のすべての座が神の国の統治の中にあるので、そのことのために、従順にする者として生きることができるよう、聖霊の満たしを求める集中をしなければなりません。

まず、神様がすべて成し遂げてくださっている集中、その恵みの中に私たちが留まることができるようにする集中です。もう一度、すべてが神様の恵みだと告白しましょう。

今月から使徒の働きが始まりました。神様の恵みを受けた者が、聖霊によってどのように伝道と宣教に用いられたのか。神様の働きと神様の熱心が、今日、私たちを通してどのように現わされているのか、それを使徒の働きを通して見てください。聖書を通して黙想するようにしましょう。



今月は、学院福音化の各課のみことばの分かちあいはありません。きょうの伝道学校のメッセージに集中してください。